

超スーパースーパー思考で考える事住る事する事

模型の完成度！自己満足ですが輝夫先生

勉強すること&家族を大切に想うこと院長

iphoneで文字を打つのが早い 岩田

本を読むのが早い 寺田

いくつでも寝られる 阪口

栄養バランスをよくなるように 東野

家に帰る時10階まで階段で登ること 安食

ライブに行ってる回数 植西

食の誘惑に負け、ダイエットを離脱する回数

休日の一日の中でボーッとする回数 影廣

息子のお誕生日会の準備 朝日

麻酔の前に麻酔します！

細やかな配慮で痛みを少なくしようという取り組みとして、歯科の麻酔注射の前処置として広く使用されているのが「表面麻酔」です。歯ぐきのごく表面に効かせて、注射のチクツとする痛みを抑えます。



とくに注射が苦手な方は、表面麻酔をすることで少し気が楽になるのではないかと思います。注射をする箇所に事前に麻酔をするなど、内科では考えられないでしょうが、やはりお口のなかに注射をすると、患者さんに強いストレスがかかります。

そこで歯科では、針を刺す痛みへの対応策として、さらにひと手間をかけているというわけです。ご希望のかたは、その旨をお申しつけください。

麻酔が効きやすい人と効きにくい人がいるの？

麻酔が効きにくい人、それは骨がガッチリしていて麻酔が骨に浸み込みにくい人です。とくに効きにくいのが下のあごの奥歯。効かない場合は、歯を包んでいて歯と骨をつないでいる靭帯(歯根膜)や、あごを通る太い神経の近くに麻酔を追加します。

炎症がひどいほど麻酔が効かない？!

炎症が激しいと、患部にできる酸が弱アルカリの麻酔薬の働き目を打ち消してしまいます。ふだんの倍量注入しても効かずあごを追加する太い神経の近くにする麻酔(伝達麻酔)が必要になるケースも。むし歯や歯周病がひどくならないうちに受診を！

1本の歯に何度も麻酔を打つのはなぜ？

麻酔薬を歯の根全体に届かせる必要があるからです。とくに奥歯は根の数が多いため、麻酔薬を多く注入します。予想より骨が厚かったり炎症が激しいケースは、追加の麻酔が必要になることが多いです。



患者Mさんからのお声 注射の前に麻酔薬パッチを貼ってもらったら、針を刺すときにチクツとしなくてちょっとホットしました。



キャベツに含まれるビタミンC 抗酸化ビタミンは動脈硬化を起こしやすくする過酸化物質を作り出すのを防ぎますよ♪

「アサリとキャベツの Pasta」

- 主材料 (2人分)
- アサリ...200g
 - オリーブオイル...適量
 - ニンニク(みじん切り)...10g
 - 鷹の爪(輪切り)...1本(1g)
 - 酒(白ワインでも可)...100ml
 - パスタ...200g
 - キャベツ(一口大切り)...140g
 - 塩...小さじ1/5
 - しょうゆ...小さじ1/2

- 作り方
- ①アサリは、砂抜きをしてしっかり洗っておく
 - ②フライパンにオリーブオイルを入れて弱火にかけ、ニンニク、鷹の爪を加えて香りがしてきたら中火にして、アサリを加えて軽く炒める
 - ③「2」のフライパンに酒を加えて蓋をし、3分ほど蒸し焼きにしたら、火を止める
 - ④鍋に水を入れ火にかけ、沸騰したら塩(分量外)を適量加え、パスタを入れて袋の表示の2分前まで茹でる
 - ⑤「3」のフライパンを再度中火にかけ、「4」のパスタとキャベツを加えて炒め、キャベツがしんなりしたら、塩・醤油で味を調える

今月のおすすめは、アパガードリナメル 傷ついた歯の表面を修復し、歯にミネラルを補給。もっとつややかなうるおいを！ **通常2,320円 → 10%OFF 税込2,090円!**